

処 分 基 準

令和7年12月23日作成

法 令 名：古物営業法
根 拠 条 項：第6条第1項及び第2項
処 分 の 概 要：古物営業の許可の取消し
原権者（委任先）：福岡県公安委員会
法 令 の 定 め： 古物営業法第4条（許可の基準）、古物営業法施行規則第1条の2（心身の故障により古物商又は古物市場主の業務を適正に実施することができない者）
処 分 基 準： 古物営業法第6条第1項及び第2項に掲げるいずれかの事実が判明した場合は、以下のように帰責事由がない場合又は悪性が極めて軽微な場合であって、速やかに是正、回復等することができ、現に是正、回復等しようとしているときなどを除き、古物営業の許可の取消しを行うものとする。 <ul style="list-style-type: none">・ 法人の責めに帰すことのできない事由によって法第4条第11号に該当する場合であって、事実判明後、法人が速やかにその者の解任手続を進めているようなとき。
問 合 せ 先：営業所の所在地を管轄する警察署の生活安全担当課又は警察本部生活保安課（092）641-4141 内 3187
備 考：